



発行所 飯田市公民館
編集人 飯田公民館委員会
印刷所 飯田印刷所
製版所 飯田製版所

人口 5,477人
男子 2,616人
女子 2,861人
世帯数 1,400戸
(7月1日現在)

活動に竜丘の特色を

女性にピチピチ・高令者は生き生き

55年度事業決定

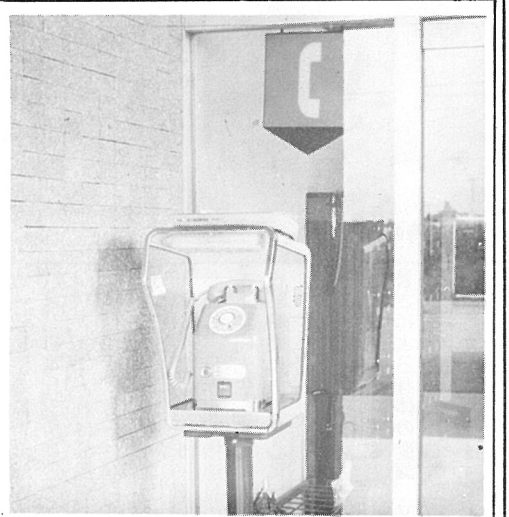
- 昭和五十五年度基本方針
一、十七日に行なわれた委員総会にて決定された。今年度の基本方針は「飯田市民館基本方針」に基づき活動を進めると共に、竜丘地区の実情に合わせスポーツ人口の底辺拡大...

55年度 竜丘公民館委員名簿

Table listing committee members for the 55th year, including names and roles like Chairman, Vice-Chairman, and various department heads.

表彰 認められた 地道な活動

このたび、竜丘防火防犯委員会(森山昇委員長)が飯田地区防犯協会連合会々長・飯田警察署長より表彰され、又片桐芳江さんと竜丘交通安全協会(園原寿美会長)が、長野県交通安全連合会会長・長野県警察本部より表彰されました...



五月下旬に、小学校の正面玄関先に公衆電話が設置されました。
今までは、赤電話が校内にあったために、夜間、日曜祭日には利用できなかったが、青電話の設置で大変便利になりました。

随想リレー [116回]

私が弓をはじめたのは昭和二十三年の秋。それは戦時中、疎開先で暮らしていた時に、友人の勧めで始めた。...

例年になく涼しい夏です。異常気象により、農作物が不作と予想され、又暑い夏を期待した商売も期待はずれで、各方面で心配が深まっています。



東海地震に備えて



東海地震に備えて。非常時に備え配備された資機材。これは、竜丘地区自主防衛隊の備蓄品です。

# 地域とともに

## 明星学園地域交流会

去る七月十九日、駄科新井原にある明星学園(宮下正大園長、園生九十二名)に於いて、地域住民との交流会が行われ、盆踊りや花火大会を共に楽しく過ごしました。この交流会は、日頃社会の隅に追いやりられ、ちな精神薄弱児と、地域の人が一語になつて楽しみふれ合う中から、より一層

の福祉を進めてほしいと、昨年より行なつて来ているもので、今年も竜丘、伊賀良の公民館、婦人会、青年会の入連約百名名が参加しました。この日は朝から園生らで、七夕祭りの飾り付けや交流会の準備、会場作りを行いました。午後六時半より交流会に入り、園長先生、地域代表者、保護者会



ふれ合い広がる踊りの輪

今竜丘には明星学園の他に、身体の不自由な人達の通園施設「あゆみ園」があり、又、県立養護学校の建設も予定されています。昨年の参加に見られる様に、今後この様な身体の不自由な人達と接する機会が多くなると思いますが、あわれみや同情で接するのではなく、普段の態度で接し、ふれ合う中で、より大きな福祉の芽を育てていきたいものです。



これなら大型機械もOK!

# 長年の夢が実現

## 新井原十五戸の水田

駄科新井原地籍の水田が、基盤条件整備され、順調に稲が生育している。十五戸の水田、三・四七haが整備され、各水田には道路が付けられ、暗渠排水

この事業は、今迄の農業構造改善事業とは違い、五道も無く、構造改善を望む声が多々であった。しかし規模が助成事業に合わず空振りに終っていた。工事始、十一月から五月末迄、竜西建設が請負い行なわれた。総工費一、七

# 青年の主張

## 若い人達に

「カラスなげ鳴くの、カラスの勝手でしょ」童謡の七つの子をひにくった今若者に流行語である。テレビが作り出した文句かどうかは知らないが「カラスの勝手」は高度経済成長、詰め込み学校教育の中で自分だけを見て育ち人間としての連帯感を欠き自分の殻にとじこもり自分だけの青春を楽しんでいる、そんな若者に受けたのではないでしうか。又今の若者には夢や若さが無いとも言われます。確かに家と会社の往復、レジャーなどの多様化により夢など考えて

いる時がないかもしれない。今我々若者は地域を見なおり積極的に、社会教育の場に積極的に参加すべきではないでしょうか。社会教育とは自分達の手による自分達の為にやる活動であると思う。九割五分の高校進学、三割の大学進学率、しかし、いかに学校で学ぼうと社会へ出ればいかに知らなくてはいけません。自分から進んで求め行動し勉強しなければ何も得ることはできません。だれも教えてくれないし又、いつまでも受身で人のあとばかりついて

桐林 林洋一



とっさの時の応救処置

# 知っていますか!?

## 三角巾の使い方e.t.c

日赤奉仕団、社協竜丘分会、それに公民館主催による「救急法の講習会」が、八月七日竜丘支所に於て開かれました。これは公民館の本年度市民セミナーの一環で、日赤、婦人会、若妻会補導員等から八十一名が参加し、日赤専門指導員の木下隆司先生を講師に迎え約三時間に亘り熱心に行われました。

夏休み中の子供の水難事故、年寄りのいる家庭では暑さによる身体の変調、又地震等の災害による病気やケガ等が心配されます。このような場合、被害者の危機

# このお金有効に

飯田市農協では、昭和四十九年度より「豊かな農業と、住みよい郷土の建設」の目的の一環として毎年各地区へ、地域開発のために寄付金を送っている。

これは飯田市農協の総ての定期貯金を、地域開発定期貯金と呼び、貯金残高と貯金加入率によって、各地区へ割りふっている。

今年度市農協では総額、約三十八万円を配分し、竜丘地区へは、五万四千円を自治協議会へ寄せられたこの寄付金のうち、二十五万円と、有価物還元金を合わせたものが、小学校へジャンクルジム一台と、市道の土地買収の補助金として使われます。

# 心身共にすこやかに

竜丘公民館では、昭和五十五年度に於て新たに乳幼児学級を開設した。この学級は、三年程度前にできた長野原団地に居住するお母さんたちで、特に三才未満児を持つ母親二十名を対象に開設したものである。子供のしつけは三才までと言われるように乳幼児期の家庭教育は、生涯教育の起点として非常に重要であるとされている。そこで、学習テーマを「心身共にすこやかに子供を育てるため」と決め、年間、講義、実習、話し合い、実践という方法を進めていきます。学習プログラムは別表のとおりです。

回	月	学 習 内 容	学 習 方 法	講 師・助 言 者	時 間
1	7	開講式 講演「しつけについて基本的なこと」	講義	児童カウンセラー 塩 沢 皎 先生	2
2	8	子供の食事・離乳食・おやつ	講義・話し合い	栄 養 士 堀 あ さ 子 先生	"
3	9	排泄のしつけ・睡眠	講義・話し合い	保 健 婦 古 田 筆 先生	"
4	10	集団生活と家庭	映画・講義 話し合い	慈光幼稚園 高 松 和 子 先生	"
5	11	・子供のかかり易い病気と早期発見 ・ケガ・事故の際の適切な処置	講義・話し合い	佐野先生 (佐野小児科) 長沼先生 (市立病院)	"
6	12	乳幼児の虫歯予防	講義・話し合い	今村歯科医院 今 村 文 四 郎 先生	"
7	1	ことばの発達について	講義・話し合い	児童カウンセラー 塩 沢 皎 先生	"
8	2	子供と本	講義・話し合い	飯田図書館館長 林 正 敏 先生	"
9	3	閉講式 講演未定			"

# あの人の

七月三十日届出

# この人の

仲びよ健やかに

- ◎永遠に幸あれ
- |             |               |
|-------------|---------------|
| 杉浦 真一 時 又   | 関島 茂善 部 落 父 名 |
| 伊藤 佳子 下条村より | 塚平 哲也 上 学     |
| 増田 理一 時 又   | 近藤 直哉 上 学     |
| 鈴木 妙子 駄科より  | 森 洋平 上 学      |
| 渡 朝和 時 又    | 熊谷 貴子 上 学     |
| 松川 順子 浜井町より | 外山みどり 上 学     |
| 福沢 敏 下条村    | 村松 奈江 時 又     |
| 塚平 幸子 上川路より | 吉沢 友里 時 又     |
| 水野 章博 時 又   | 桃井佐津貴 上 学     |
| 中山 明美 泰阜村より | 後藤 智恵 上 学     |
| 高島 俊夫 時 又   | 松島 理恵 上 学     |
| 朝日日出子 根羽村   | 森 啓士郎 上 学     |
| 沢柳 敏郎 竜江    | 宮澤 沙緒 時 又     |
| 牧内 清子 桐林より  | 宮井 政義 時 又     |
| 吉川 好次 時 又   | 加藤 敦子 時 又     |
| 佐藤ふみ子 穂より   | 矢澤 亜由 時 又     |
| 吉地 劉輔 時 又   | 橋本 史子 上 学     |
| 並木 キン 埼玉県より | 岡山 芳貴 時 又     |
| 金田 一 時 又    | 小室 芳貴 時 又     |
| 岡本富子 鼎 町より  | 氏 名 御冥福を祈る    |
| 河合 実 上飯田    | 氏 名 部 落       |
| 山下 和子 時 又より | 氏 名 部 落       |
- 公民館事業計画を掲げた今年度初の館報発行もだいぶ遅れました。やっとお手上へお届けできます。今回から、小本曾俊君を加え、広報委員全員、一致団結して頑張っています。しかし、ペラペラの委員会三名が抜けての苦しいスタート?
- 館報の内容等について御意見がありましたら、是非公民館までお寄せ下さい。(Y・H)

# 編集後記

不順な天候に、不快指数もグングン上がる。夏の甲子園では熱戦が展開されている。一投一打に打ち込む真剣な目、一杯のプレー、その爽やかさに少しは救われる。

公民館事業計画を掲げた今年度初の館報発行もだいぶ遅れました。やっとお手上へお届けできます。今回から、小本曾俊君を加え、広報委員全員、一致団結して頑張っています。しかし、ペラペラの委員会三名が抜けての苦しいスタート?

館報の内容等について御意見がありましたら、是非公民館までお寄せ下さい。(Y・H)